

剣詩舞京都凱涼会の紹介 佐藤凱亮仙

今回は、詩吟と兄弟の関係にある「剣詩舞」について、皆さんに「ぎんまい長岡京」で紹介させていただける機会をいただきましたので、設立とその後の指導を行いました「神刀無念凱山流師範 佐藤凱涼仙」が筆をとらせていただきました。私も今年で81歳になりました。41年前、主人の転勤で宇都宮から長岡京に転居しました。そのころ豊橋の他流派「日本壮心流」の大会に宗家の代理で出席し、その時、その家元から少壮吟士の佐々木一景先生をご紹介いただき、先生から「京都で踊りの先生を探している流派があります」というお話をお聞きし、探しておられる吟道賀堂流の長岡京吟詠会会長の千阪賀秀先生をご紹介いただきました。千阪先生にお会いしたところ、その場で千阪先生のお許しをいただきました。そして「京都凱涼会」を立ち上げ今日に至っています。今年で39年になります。長年にわたり、吟道賀堂流長岡京吟詠会様より多大なご支援を賜りたくさんの会員さんを教えることができ、また凱山流の師範の免許を取得していただきました。「京都凱涼会」は、優秀な指導者ばかりで、つねにコンクールでもよい成績をおさめているのはうれしい限りです。ぜひ「剣詩舞」の魅力をご理解いただき、ぜひ一緒に勉強しませんか。これからしばらく「ぎんまい長岡京」の紙面をお借りして、シリーズで私の吟詠剣詩舞人生や剣詩舞の魅力をお伝えしたいと思います。お付き合いください。



佐藤凱亮仙

牧水吟詠会のご紹介 その2 歴史についてを振り返って

牧水吟詠会 会長 西田賀公亮

昭和40年代頃から詩吟に対する考え方と言うか認識を充分理解しないで、「おい、詩吟やらへんか」という誘い文句で、猫も杓子も、同意して入会してきた時代が、昭和40年代～50年代前半ころまででした。その中で、指導者の養成があり、牧水公会長先生の指導のもと、私よりも先輩のかたは、中伝位の時から「教えに行け」と命令されて、先生指導のもとで指導するようになったといわれておりました。その当時、先生の方は、固定の教室担当でなく、持ち回りで指導に行かされていたように記憶しています。そんな中で、詩吟人口が増加傾向となり、牧水だけで約250～260名を数える会員がいました。全丹地区で、詩吟をされる方は800名～900名ほどいた様に記憶しております。詩吟大会はすでに盛んに行われており、牧水会でも競吟犬会がいろんな場所を借りて行われました。勿論、各伝位ごとに、初伝・中伝・奥伝・師範代・準師範・師範・という形でコンクールを、みんな弁当持ちで、楽しみながら行われたことを今も脳裏にきざんでおります。そうこうしている折、長岡京と牧水吟詠会との「交換吟詠大会」をやろうではないかという話があり、バスに乗って楽しんで長岡京との「交換吟詠大会」に参加したことを覚えています。皆、和気あいあいと、気楽なことを楽しんだように思います。私個人としては、千阪会長から毎年のように催される記念大会に10年近く参加させていただいた記憶があります。私の個人の話は、つぎの「ぎんまい長岡京」でお話します。お楽しみに。



西田賀公亮

令和5年度 新入会員ご紹介

よろしく
お願いです



尾本 歌子さん (おもと うたこ)
住 所：長岡京市・野添
入 会：令和5年1月より
クラブ：西山詩吟クラブ

詩吟を習うきっかけは、コロナが長引き友達と食事をしたり、おしゃべりもできなくなったので、気分転換にと思ったことです。いざ習い始めると発声の仕方とか難しいですが、興味もあり楽しく習っています。

きいしま苑で30周年記念で吟を披露 櫻井賀秀眺

1月17日の地域福祉センターきいしま苑の「新春きりしまステージ」への出演者募集の記事を見て、詩吟を知ってもらいたいと思い応募しました。新型コロナ感染防止のため、各種目は1人しか出られないため、詩吟は私だけの出演となりました。吟題は「富士山」「常盤兎を抱くの図に題す」など初めてでもわかりやすい吟を選び、詩文の解説なども含め楽しんでもらいました。広い畳の部屋で「腹話術」、「フルーツ」、「津軽三味線」、「紙芝居」などたくさんの芸事の発表があり、参加者の方が喜んでおられました。これからは詩吟普及のために、皆さんと一緒にこのような機会に積極的に参加していきたいと思っております。

私と詩吟の出会い

橋本賀秀司

若い頃職場に、詩吟に行くのを楽しみにしている先輩がいましたが、子育て中の私にはその時間がもてず悔しい思いをしたことがあります。また、いつ頃だったか覚えていませんが、職場の後輩から「詩吟の会があるので、ぜひ聞きに来てください」との誘いを義理を果たすつもりで行ったものの、何を言っているのか理解出来ず退屈な時間を過ごしましたが、「和歌」を聞いたとき、「なんと素晴らしい！」と思ったことがあります。しかし、当時それ以上のことはありませんでした。退職後何をしようか悩んでいたある飲み会の帰り道、退会された坂田賀秀萌先生から、「詩吟をしませんか？」とのお誘いを受けました。過去の詩吟のことがあったので、「いつやめてもいいや!!」との軽い気持ちで踏み込んだ道が今に続いています。詩吟を始めてから判ったことですが、「詩吟の会」に誘ってくれた後輩は、愛連「昭和56年第一部優勝、昭和61年度第二部優勝」の渡辺旭洲先生でした。先生が私を呼んでくれたのかもしれないとも思っています。

R5/3・4月の予定

3/ 5(日) 愛連フェスティバル	尼崎文化センター
3/12(日) 賀堂流京都本部役員総会	丹波マークス
3/19(日) 定期発表会	こらさ交流室
3/21(火) 流碑祭&総本部役員総会	姫路護国神社
3/26(日) 前期昇格審査会	公民館講座室
4/ 9(日) 全国吟詠コンクール	ラポール京都

(事務局)

訂正とお詫び

令和5年度長岡京吟詠会会員名簿P.2の、85番中小路唯義さん、86番中小路光子さんの資格が共に初級となっておりますが、正しくはお二人とも一級です。ここにお詫びして訂正いたします。

(事務局)

全国吟詠コンクール京都府大会に17名が出場！！

4月9日(日)開催の表記コンクールに我が吟詠会より、幼年の部1名、一般二部1名、一般三部に15名が挑戦します。出吟される方は日頃の稽古の成果を十分に発揮して頂いて良い結果を出してください。皆さんの応援をお願いいたします。

(事務局)

前期昇格審査に10名が挑戦！！

3月26日(日)実施の昇格審査に初伝5名、中伝1名、奥伝1名、師範代2名、四段1名が挑戦されます。皆さん落ち着いて自分の良い吟を発表して頂いて合格を目指してください。

(事務局)

わかたけ詩吟クラブ春の発表会

わかたけ詩吟クラブでは4回目の春の発表会を開催します。日頃の稽古の成果を他のクラブの方の応援も得ながら楽しく発表したいと思っています。コロナウイルスの感染がまだ終息する気配を見せない状況ですがお時間のある方は覗いて見て下さい。

とき： 2023年4月2日(日) 10時～12時
ところ： 西向日コミュニティセンター

わかたけ詩吟クラブ代表：長尾賀秀剣

ほっと一息、休憩タイム



詩吟よりおやつ

まるいち

8歳の女の子が詩吟を先生のところに習いに来ていました。6歳の弟も一緒についてきています。部屋に入ると二人とも、手をつき、礼儀正しく「今日はよろしくお願ひします」とご挨拶。頭を下げながら、弟が横目でチラッとテーブルの上のお菓子に目が…。しっかりした挨拶もそこそこに、「先生、何回詩吟をやったらあのおやつがもらえるんですか？」と毎回尋ねる弟。「では、3回やったらね」と先生。返事を聞いて安心して覚えたての詩吟を吟じて、美味しいおやつをいただいたそうです。その弟も今では、180cmを超える好青年となりました。子供以上に美味しいおやつを楽しみにしているのは大人の生徒です。

シリーズ「クラブ紹介」その10
【秀邦詩吟クラブ】

横山賀秀邦

毎週5日楽しくお稽古をしています。基本を大事に、まずは響く母音が出るよう「あ・え・い・お・う・ん」の支点に忠実に発声練習をします。皆さんとても上手によく響くのですが、いざ吟詠に入ると仲々うまくいかないことがあります。そこで『発声練習を思い出して!』と止めたりもします。詩文に強弱をつけて語り、響く母音で節回しができるようにと、味のある吟詠を目指して楽しく詠ってもらっています。1日2～5人、週16名、お互いの良い点や改善点を認めながら、笑顔いっぱい皆さんとお稽古を楽しんでいます。これが私の健康の原点だと思います。素読と歴史が大好きな人をどんどん増やしたいと思っています。

詩吟の基礎技術 その7

高橋賀秀正

吟詠におけるよい姿勢とは

1. 声(よく響く声)を出しやすい
2. 呼吸をコントロールできる
3. 安定して見て見たい目に美しい(礼にかなっている)
4. 身体に余分な負担をかけない(疲れにくい)の四点を満たした姿勢と言えます。

1. 声(よく響く声)を出しやすい姿勢

- ①「頭」は、やや後ろへ倒した状態から「ア」と声を出しながら少しずつ前へ戻し、声が最もよく通り、かつ首に負担がかからない位置。
- ②「肩」、前屈みにならない程度に張り、吊り上げない。
- ③「胸」、肺が膨らみやすいように開き、ゆとりを持つ。
- ④「腕」、自然に下へおろすが、両脇に卵を1個挟んだ感じで、体側との間にゆとりを持たせる。女性は両手を身体の前で組みます。手の組み方は右手指先を左手で軽く握り、手の位置は帯の下ぐらいで自然な状態に組みます。(肩が張らないこと)
- ⑤「腰」、頭・背筋から受ける重みを無理なく腰の中心で受け止められるよう、引きすぎないこと。
- ⑥「両足」の間隔は、肩幅かそれよりやや狭いくらいが標準。爪先は、女性はやや前つぼみ、男性は平行かやや前開き(本来は男性もやや前つぼみが好ましいが、男らしさに欠けるため)。踏んばる感じでなく、膝の関節をやや曲げて膝にゆとりを持たせる。
- ⑦椅子にかけ吟じる時は、腰は椅子の前ふちの固めの所に浅くかけます。足のかかとは椅子の下後へうかせて引き気味にし、つま先はしっかりと床面へつけます。

2. 呼吸をコントロールできる姿勢

- ①逆腹式呼吸と声を支える姿勢が大切です。
- ②腹を前に出しすぎないように気をつける。

3. 安定して見て見たい目に美しい姿勢

- ①目は一点を見つめず、なるべく遠くを漠然と眺めるように見る。
- ②自然体、凛々しい、スックと、しなやか等をイメージする。

4. 身体に余分な負担をかけない(疲れにくい)

- ①腹を引き締め、骨盤を前方へいくらか出して(出しすぎないこと)、腰をやや落とした状態。

教室で、先生に具体的に指導していただき、実践しましょう。



『ぎんまい長岡京』 編集室

編集委員長 尻枝賀秀道

編集委員 市丸、櫻澤、後藤、宮小路

※連絡・問合せ先 尻枝賀秀道

Tel: 075-954-9092